

式辞（令和元年度「修了式」）

今日で37日間の短かかった3学期が終了します。3月上旬に実施する修了式は今まで一度もありません。昨年10月の台風による甚大な被害も私達の想像をはるかに超える大惨事でした。残念ながら令和元年度は私達にとって試験の年となってしまいました。

そんな中で学校生活を送ってきた皆さんにとって、この1年間は どうでしたか？ 充実していましたか？

- ・ 勉強のことだけではありません。
- ・ 挨拶を相手に伝わるように交わしましたか？
- ・ 係活動や生徒会活動また秋風祭などの学校行事に積極的に取り組みましたか？
- ・ 思いやりをもった心が育ちましたか？

通知票は休校期間中に担任の先生から渡される予定ですが、その前にこの1年間の通知票を自分でつけてみましょう。5段階評価での自己評価です。

それでは眼を閉じて下さい。この1年間の自分を振り返って学習面、生活面を通じて1、2、3、4、5のいずれかの評定を心の中でつけてください。15秒間、時間をあげますのでよく考えてください。

それでは目を開けて下さい。評定の点数をつけましたか？それでは校長先生が1～5の数字を順番に言います。

該当すると思う評価に手を挙げてください。

1年後、今より上の評定を自分で自信をもってにつけられるように一日一日を大切にしていきましょう。

だれもがみんな、初めての人生を生きているのです。だからこそ「失敗から学ぶのです」「失敗は恥ずかしいことではありません。恥ずべきことは、そこから立ち上がらないことです。何かに前向きに挑戦して失敗したとしても、必ずその失敗が生きてきます。

しかし、何もしなかつたり努力をしないで失敗すること

は、ただの怠けであり、そこに成長はありません。前向きに挑戦するからこそ、たとえ成功ではなく失敗したとしても、そこから自信が芽生え、あなたは成長するのです。

また私がよく話してきた「今を精一杯生きること」です。せつかくこの世に生まれて来て、あなたは一日一日を無駄に生きていませんか？ゲームをして遊ぶことも時にはいいでしょう。でも好きなことだけをしたり、楽なことばかりしては、今という大切な時からただ逃げているだけです。ぜひ明日からの1ヶ月を無駄に過ごさないでください。期待しています。

皆さんがエールを送った卒業生は、志望校合格に向けて、明日からの県立高校入試に臨みます。

新3年生になる2年生の皆さんも、もうすぐ最上級生になり、憧れの志望校に合格するという夢に向かって、明日からの約1ヶ月間を意欲を持って取り組んでください。

新2年生になる1年生の皆さん、あと1ヶ月後には新入生が入学してきます。そしてあなたたちは先輩になります。新入生の生徒達は、皆さんの姿勢を見て、中学校生活をイメージします。言葉だけで行動が伴わなければ、先輩とは言えません。新2年生の皆さんも明確な夢や目標をもって、中堅学年として成長してください。

明日から4月5日までの33日間を有意義に過ごし、「自分で自分を褒められる人」になれるような生活を送ってください。

結びに4月6日には、70名の新入生が入学してきます。皆さんは先輩になります。新年度を迎えるこの機会に、もう一度、今年度を振り返り、自分自身を磨き成長してくれることを大いに期待し、式辞といたします。

令和2年3月3日

植田東中学校長 若松 真一

令和元年度 修了式

式 辞